

東京都
ホール・劇場等連携フォーラム2019
～豊かな創造・鑑賞・参加の場を共につくるために～

東京2020オリンピック・
パラリンピックに向けた文化の取組

東京都生活文化局文化振興部
山崎 利行

オリンピック憲章における文化プログラムの位置づけ

オリンピックは肉体と意志と精神のすべての資質を高め、バランスよく結合させる生き方の哲学である。

オリンピックはスポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探求するものである。その生き方は努力する喜び、良い模範であることの教育的価値、社会的な責任、さらに普遍的で根本的な倫理規範の尊重を基盤とする。(根本原則)

大会組織委員会は**少なくともオリンピック村の開村から閉村までの期間、文化イベントのプログラムを催すものとする。**当該プログラムはIOC理事会に提出し、事前に承認を得なければならない。(第5章第39条)

	東京都	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会		国	
プログラム・ロゴマーク	<p>Tokyo Tokyo FESTIVAL</p> 	<p>東京2020参画プログラム</p> <p>○公認文化オリンピック</p>  <p>○応援文化オリンピック</p> 	<p>東京2020 NIPPON フェスティバル</p> 	<p>Beyond2020 プログラム</p> 	<p>日本博</p> <p>(ロゴ未定)</p>
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年の東京を文化の面で盛り上げるため、東京都等が実施する様々な文化プログラム ・芸術文化都市東京の魅力を国内外に発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・「オリンピック憲章」に基づいて行われる公式の文化プログラム。 ・大会ビジョンの実現やオリンピック・パラリンピクムーブメントを裾野まで広げる事業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化オリンピックの集大成として、4つの主催プログラム及び様々な団体と連携した共催プログラムを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年以降を見据え、営利非営利を問わず、多様性や国際性に配慮した取組を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年を契機に、文化プログラムの中核事業として、日本全国でプロジェクトを推進

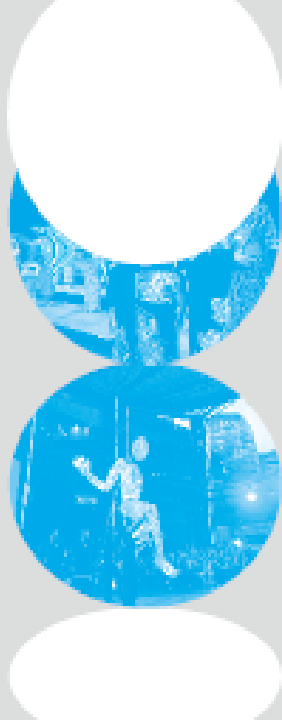
Tokyo Tokyo

FESTIVAL

THE
FUTURE
IS
ART



文化で
つながる。
未来と
つながる。



東京はアートのかを信じている。

それは私たちのこれからを描く力だ。
それは違いを受け止め、通じ合おうとする力だ。

2020年。
東京はその力を世界に示したいと思う。

伝統と現代が、
そして世界中の文化が交差する
東京だからできること。

Tokyo Tokyo FESTIVAL
それは、アートでつながる
未来とつながる文化の祭典。

東京都の東京2020オリンピックパラリンピックに向けた文化の取組

- 東京2020大会を契機に、芸術文化がより身近になり、より多くの人々が芸術文化に日常的に触れ、楽しむなど、文化の魅力であふれる都市東京を実現
- そのために、都として様々な文化プログラムを展開するとともに、民間等に対する助成事業も行うことで、より多くの方々が文化プログラムに参加する機会を積極的に創出

1 都が実施する文化プログラム

- ・企画公募事業
 - ・TOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL[サラダ音楽祭]
 - ・六本木アートナイト
 - ・東京キャラバン
 - ・東京大茶会
 - ・都立文化施設における展覧会、東京都交響楽団による公演
 - ・パリ東京文化タンDEM2018
 - ・TURN
 - ・伝承のたまてばこ
- 等

2 民間等に対する助成事業の実施

- ・Tokyo Tokyo FESTIVAL助成
- ・東京芸術文化創造発信助成
- ・芸術文化による社会支援助成
- ・東京地域芸術文化助成

3 他団体との連携

- ・組織委員会が実施する東京2020 NIPPONフェスティバル
- ・都内各地で実施される文化プログラム

※文化プログラム全体の取組を「Tokyo Tokyo FESTIVAL」と銘打ち、プロモーションを展開

都が実施する文化プログラム（例）

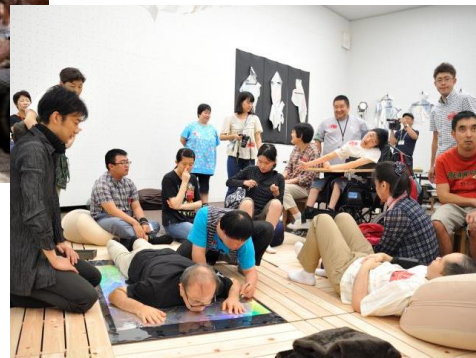
六本木アートナイト



都民パフォーマーズコーナー [トパコ]



東京大茶会



TURN



TOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL

Tokyo Tokyo FESTIVALが目指すもの

文化プログラムの考え方

- 1 伝統と現代の共存をはじめとした独自性・多様性を持つ東京の文化を世界に発信
- 2 国際的な伝統文化交流を積極的に展開
- 3 障がい者、高齢者、子供、外国人等、国内外のあらゆる人々が参加・交流できる機会の創出
- 4 新たな発想を取り入れた芸術文化活動の推進
- 5 次世代を担う人材の育成
- 6 都市全体で文化的な祝祭感を創出
- 7 国、他の自治体、芸術文化団体等との連携・協力によるオールジャパンでの気運醸成

大会後のレガシーの創出

- 1 都民の芸術文化に触れる機会の増大
- 2 地域経済や観光の活性化
- 3 世界から「芸術文化都市東京」として評価
- 4 人材や芸術文化団体等の成長
- 5 芸術文化の力が社会課題の解決に貢献

1 検討経過

- 都と組織委員会は共同して、世界中から訪れる観戦客等がライブ中継で競技観戦を楽しみ、大会の感動と興奮を共有できる会場を、都内及び被災地に設置することが必要
- 昨年4月の都内8候補地公表後、都と組織委員会は、現地調査や関係者との協議を行いながら、各会場の実現可能性を検証
- 特に、各会場の特性に応じた適切なセキュリティ対策に万全を期すとともに、大規模なライブサイトは数を絞る等、安全・安心な運営に向けた検討を実施

2 会場の概要

- 都内については、世界中からの多数の観戦客等を迎える広域的な受け皿として、8候補地すべてを活用
- 各会場特有の状況を踏まえ、実施内容・運営にメリハリ
- 都内全体の盛り上げのため、多摩地域に都のパブリックビューイングを核とする盛り上げ会場1か所を追加。具体的な実施場所は、現在検討中
- 今後、都と組織委員会は、各会場にふさわしい実施内容・運営についてさらに検討し、関係者の意見を踏まえ、年度内に「東京2020ライブサイト等基本計画」を決定

① 東京2020ライブサイト	区部拠点会場	都立代々木公園
	多摩拠点会場	都立井の頭恩賜公園
② ターミナル駅周辺 東京2020ライブサイト		・高輪ゲートウェイ駅前用地 (東日本旅客鉄道株式会社との連携事業) ・池袋西口公園 ・東京都庁舎
③ 都のパブリックビューイングを核とする盛り上げ会場	区部拠点会場	・都立日比谷公園 ・都立上野恩賜公園
	多摩拠点会場	多摩地域会場(1か所検討中)
④ 組織委員会が中心となって展開する盛り上げエリア		臨海部(青海・有明地区等)
⑤ 被災地 東京2020ライブサイト		・岩手県：(オリ)盛岡城跡公園 多目的広場 (ハラ)JR盛岡駅前 滝の広場 ・宮城県：勾当台公園 ・福島県：(オリ)鶴ヶ城公園 (ハラ)アクアマリンパーク ・熊本県：熊本城ホール

① 東京2020ライブサイト（都と組織委員会共催）

- 都民のみならず、国内外から訪れる観戦客等を広く受け入れる広域的で大規模なライブサイトとして、区部と多摩に拠点会場を設ける。大型ビジョンによる競技中継のほか、東京・日本の魅力発信、大会パートナーの出展等により、大会の盛り上げを図る。
- ② ターミナル駅周辺 東京2020ライブサイト（都と組織委員会共催）
- 都内外からアクセスしやすく、利便性が高いターミナル駅周辺に会場を設け、世界中から訪れる観戦客等を受け入れる。大会パートナーとの連携や既存施設の活用により、効果的に大会の盛り上げを図る。

③ 都のパブリックビューイングを核とする盛り上げ会場

- 大会を契機に、様々な主体が、多様な文化や食等東京及び日本の魅力発信や観光PR等に取り組み、ともに大会を盛り上げていくことが重要
- 都は、区部と多摩に拠点会場を設け、競技中継を行うとともに、様々な団体や地元等の出展やイベント等と連携しながら、パブリックビューイングを核とする全体的な盛り上げを創出できるよう取り組む。

④ 組織委員会が中心となって展開する盛り上げエリア

- 臨海部(青海・有明地区等)は、アーバンスポーツ等多くの競技会場が集積する特別な場所であり、大会の象徴的なエリアとして盛り上げを図る。
- 組織委員会を中心に、大会運営に配慮しながら、都や大会パートナーに加え、地元等の協力も得ながら、来訪者が大会の雰囲気を感じられる特別な盛り上げエリアとして、今後詳細検討を実施

3 開催期間及び時間

(1)開催期間

- ・東京2020ライブサイト 区部・多摩拠点会場:大会期間(計30日間)を基本に実施
- ・その他の会場:詳細な開催期間は今後検討・調整

(2)開催時間

- 競技が多く実施される時間帯(午前10時から午後9時頃)を中心に会場ごとに検討・調整

4 来場者想定

- 会場の有効面積や実施内容、立地特性等の要素を踏まえ、大会期間中、都内会場で1日あたり87,000人以上、総計で260万人程度の来場者を想定

【1日あたりの来場者想定数】

(人/日)

2-①	都立代々木公園	35,000	2-③	都立日比谷公園(※)	6,000
	都立井の頭恩賜公園	20,000		都立上野恩賜公園(※)	8,000
2-②	高輪ゲートウェイ駅前用地	14,000	2-④	多摩地域会場(検討中)	(未定)
	池袋西口公園	2,000		臨海部(青海・有明地区等)	(未定)
	東京都庁舎	2,000		※公園来場者数ではなく、公園内の競技中継の観戦者想定数	

- 被災地会場の来場者数については、今後の会場検討にあわせて想定

5 実施にあたっての留意点

- 来場者が会場内で安全・安心に過ごすことができるよう、主催者による自主警備(民間警備員による警備)を基本とし、地元警察等、関係機関と十分に連携
- 暑さ対策は、日除けテントやミストの設置等、ハード面・ソフト面の対策を実施
- 会場内にはアクセシビリティに配慮したルートやエリアを設定するとともに、Wi-Fiを整備
- 区市町村が実施するコミュニティライブサイト等について、都は補助制度による支援のほか、適切な情報提供、各種相談対応等を実施